

○ 多くの学校で、授業外での基礎的・基本的事項の定着に向けた取組の時間の確保いただいています。ありがとうございます。担任や教科担当者だけでなく、学校全体の取組として継続していただきたいと思います。そのために、誰が何をやるかの役割や取り組む内容を明確にして計画的に進めていただきますようお願いします。

【重点取組1】 個に応じた指導・習熟度別指導の拡充

- ◆ 習熟度別、複数体制等での放課後学習教室【小】
- ◆ 単元途中での形成的評価の実施、「わかる」「できる」まで個別指導や補充の時間を設定【小】
- ◆ 授業中の学習指導補助教員と連携した個に応じた指導【小】
- ◆ 授業中の担任等による机間指導における見取りと即座の支援【小】
- ◆ 学習委員会と連携し、定期テスト前の「クエスチョンタイム」の実施【中】
- ◆ 数学と英語を組合せ2時間を1セットにして行う1クラス当たりの人数が多い学級における習熟度別授業の実施【中】
- ◆ 支援を必要とする生徒が在籍する学級の授業に、その時間授業が入っていない教員を配置して指導【中】
- ◆ 学習面での悩み解消に向けた教育相談の実施【中】
- ◆ タブレット端末を活用した習熟度別ドリル学習【中】
- ◆ 縦割り班でのテスト前の質問や学び合いの時間の設定【中】

【重点取組2】 読み・書き・計算の習得の徹底

- ◆ MTT（マイタウンティーチャー）等を活用した補充学習【小】
- ◆ 朝自習や授業で学習アプリ等を活用した四則計算の定着の取組【小】
- ◆ 業間活動での全校一斉での取組（火：計算 木：漢字 金：読解ドリル）【小】
- ◆ 学期末にクラスマッチ形式の漢字・計算・英単語大会の実施【中】
- ◆ 朝自習で5教科の基礎基本の確認テストを実施し、目標点に達できなかった生徒への事後指導の実施【中】
- ◆ 職員会議や校内研修の時間に生徒会主体の学習会の実施【中】

柱1 「誰一人取り残さない学びの保障」

【重点取組3】 定着確認の徹底

- ◆ 単元テストや単元を通した学習課題の成果物を即時評価し、身に付くまで指導【小】
- ◆ テストのやり直しで答えとともに解き方を指導、学期末に再テストの実施【小】
- ◆ 学びタイム等で新たな単元に入る前にレディネステストを実施【小】
- ◆ 単元末の評価問題の確実な実施と状況把握、確実な見届け【小】
- ◆ 当該学年の問題以外に前学年の問題等の活用【小】
- ◆ 単元テストにおける定着確認と指導の徹底【小】
- ◆ 全学調の過去問題や県学調フォローアッププリント等に取り組む時間の設定【小・中】
- ◆ 単元テストや定期テストでの合格基準の設定、合格するまで再テストを実施【中】
- ◆ 1分前学習と授業開始時の帯活動の実施（国語：漢字テスト、英語：教科書重要本文の確認と暗記）【中】
- ◆ 定期テスト前後の個人面談【中】

【重点取組4】 読解力向上の取組実践

- ◆ 文型や書き出しの提示、板書されたキーワードをもとにまとめを自力で書けるよう継続的な指導の実施【小】
- ◆ 読みの視点を明確にした授業をするため、教科書の「たいせつ」の活用【小】
- ◆ 国語でテキストから正しい情報を取り出す際にサイドラインを引くなど、根拠を持った考えを構築する方法を共通実践【小】
- ◆ 朝自習での週1回読書や学校図書年間貸出目標冊数の設定【小】
- ◆ 帰りの会前15分に長文読解や発展的な問題を解く時間の設定【中】
- ◆ 新聞のコラム欄を読んで100字程度に要約する活動【中】

○ 管理職の先生方の定期的な授業参観だけでなく、教師相互の授業参観についても取組を進めている学校が多数見られました。また、重点取組6と7を関連付け、視点をそろえた授業参観、自校の児童生徒の実態に沿った校内研修内容の重点化を進めている学校も多く見られました。授業参観後の授業者への確実なフィードバックと「熊本の学び」授業実践の8つのチェックリスト(天草版)の活用をお願いいたします。

【重点取組5】 学校運営に関する助言の強化

【重点取組6】 授業観察の習慣化

- ◆ 校長・教頭は毎日授業参観を行い、主幹教諭は若手教師を中心にTTに入り、授業づくりと併せて学級経営や生徒指導上の相談に応じる体制づくり【小】
- ◆ 学年部会、教科部会、メンターグループによる情報交換の場の設定【小】
- ◆ 3つのキーワードの視点での授業参観の実施【小】
- ◆ 校内研修での共通実践事項が図られているか授業参観で確認【小】
- ◆ 各先生が人事評価シートに記入した授業改善項目・校内研修の視点・ICT活用等を視点に授業参観を行い、気づき等は個人面談又は手紙方式で伝える【小】
- ◆ 中学校と連携し、相互に授業参観できる機会の設定【小・中】
- ◆ 「熊本の学び」授業実践7つのチェックリストや校内研修での共通実践事項を視点にした管理職による授業参観【小・中】
- ◆ 市町教育委員会の指導力向上事業や教育センターのスクールサポート等を活用した授業参観等の実施【小・中】
- ◆ 小小連携、小中連携での授業参観【小・中】
- ◆ 研究授業と別に授業公開を週行事予定に位置付け、教師相互の授業参観の推進【中】
- ◆ 校内研修の取組として3～4人のグループを決め、教師相互で授業参観と助言を行う取組【中】
- ◆ 自分の授業の定期的な録画録音【中】

柱2 「教員一人一人の授業力向上」

【重点取組7】 校内研修内容の重点化

- ◆ 「熊本の学び推進プラン」の授業づくりのポイントに基づいて焦点化した授業提案の実施【小】
- ◆ 熊本の学びスタート・アップ研修の実施【小・中】
- ◆ 授業巡回を通して捉えた授業力向上につながる課題や好事例をまとめた管理職による通信の発行
- ◆ 学びのABC(学習規律等)の徹底(月1度の振り返り)【小】
- ◆ 「見方・考え方」「対話」を共通の視点として共通実践【小】
- ◆ 一人学びでの自分の考えを確実に持つ時間と手立てを共通実践事項とした取組【小】
- ◆ 県学調・全学調の分析を教師全員で行い、課題を共有【中】
- ◆ 生徒が考えを持ち、根拠を持って伝えることができる学習課題の設定や発表の場の工夫【中】
- ◆ 小中連携合同研修の実施(年2回以上)【中】

【重点取組8】 構想・省察の習慣化

- ◆ 「熊本の学び」授業実践7つのチェックリストをもとに授業の定期的な振り返りの実施【小】
- ◆ 単元終了時の児童の姿を教室に掲示し、児童と共有【小】
- ◆ 「児童に身に付ける力は何か」及び「学習後の児童の姿」を具現化し、授業で児童と共有すること【小】
- ◆ 児童の意欲が高まる単元のゴールの設定及び教室への掲示、振り返り【小】
- ◆ 単元構想(シラバス)と振り返りシート等を活用し、教師と生徒が見通しの共有と伸びを確認【中】
- ◆ 週案に「単元のゴールの姿」「達成するための学習構想」「授業終了後の結果の振り返り分析」を記入することでの習慣化【中】
- ◆ 月1回の教師・児童生徒への「熊本の学び」授業実践の7つのチェックリストを活用したアンケートの実施【小・中】